



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

○すすんで学習する子（知） ○思いやりのある子（徳） ○たくましい子（体）

第22号 令和3年8月26日発行

充実の2学期に

昨日、始業式を行い1年で最も長い2学期がはじまりました。子ども達は久しぶりの登校で、友達と笑顔で話したり教師の話を真剣に聞いたりして元気に学校生活を送りました。

2学期がはじまるにあたり、始業式で次のことについて子ども達に話しました。

はじめに、「交通事故や不審者被害等から自分の命を守ること」について話しました。集団登校や交通教室、そして日々の指導等を通して、「交通安全」の意識は持ち続けていると思います。その上で、「飛び出しをしないこと」について再確認しました。一度の間違いで大けがをしたり命を落としたりするのが交通事故です。今後も継続して指導することで、交通事故に遭わないように気をつけさせたいと思います。また、不審者の被害に遭わないように、「いかのおすし」を意識したり、防犯ブザーを携帯したりということの大切さも再確認しました。子どもたちが様々な被害から身を守ることができるように指導を続けていきたいと思っています。

次に、「自分から」「相手を見て」「聞こえる声で」あいさつをすることが大切であることを伝えました。「あいさつ」は、コミュニケーションの大切な手段です。より一層、素敵なあいさつができる子になるように声を掛けていきたいと思っています。また、班長さんを中心にしっかり集団登校ができています。班長さんが責任を果たしているからだと思っています。今後も、交通安全の意識をもち、安全な登下校ができるようにしていきたいと思っています。

それから、「目指す児童像」について話しました。

- 「学習ができる」
- 「運動ができる」
- 「人にやさしくできる」

「学習ができる」ということについては、自分の目標（例えば、漢字の習得や算数の文章問題への対応）を達成するために、「何をするか」「どのように取り組むか」を考えることが大切であることを伝えました。また、継続した家庭学習への取り組みの大切さについても伝えました。

「運動ができる」ということについては、「速く走る」「長い距離を走る」「早寝・早起き・朝ご飯など規則正しい生活の大切さ」などについて話しました。

「人にやさしくできる」ということについては、道徳科の学習で様々なことについて真剣に考えることや友達と考えなどから多様な考えに触れることなどの良さについて話すとともに、日頃の生活で「相手の立場で物事を考えること」「相手の人がうれしくなるように話したり行動したりすること」ができるようにすることが大切であることを伝えました。

最後に、6年生の皆さんへ向けて小原田小学校のリーダーとして様々な場面で活躍することを期待しているという話をしました。2学期は、様々な教育活動を予定しています。その時、6年生一人ひとりが全校生のために、友だちのために、自分のために頑張る姿を楽しみにしています。

子ども達がよりよく成長できるように、2学期も職員一丸となって教育活動に取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。また、保護者の皆様には、夏休み期間中、児童の体調管理や学習の確認、新学期の準備等大変お世話になりました。ありがとうございました。

感染防止

感染拡大が続いています。学校では、今後も教室内の換気や児童の手洗いと消毒、そして三密回避等、これまでの感染対策を徹底していきます。児童の健康を第一に考えて教育活動を進めていきたいと思っています。今後、教育活動の変更や中止等があるかも知れませんが、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。